

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

近年は高齢で一人暮らしの方が多く、ご本人様、離れて暮らすご家族様の中には、認知症の進行や身体能力の低下で変わっていく日々に不安を抱えている方も多いと思います。

一人であるいはご家族で抱え込まずに、早めにお住いの行政に相談してみることも大切です。

諏訪市地域医療・介護連携推進センター(ライフドアすわ)では、「諏訪市認知症ケアパス」を発行しています。認知症の経過に応じた支援の内容や、介護を必要とされている方々を支える諏訪市の取り組みの紹介が掲載されていますので、是非ご参考にしてみてはいかがでしょうか。

その中で紹介されている介護サービスは多岐に渡りますが、在宅で受けることが出来る介護サービス、「訪問介護」についてご紹介させていただきます。

『訪問介護』は、介護ヘルパーが利用者様を訪れ、決まった時間に必要な介護サービスを行います。サービス内容は、入浴や排泄、食事介助などの「身体介護」と、掃除や買い物、食事の準備などの「生活介護」の、大きく二つに分けられます。



『訪問介護』は、ケアマネジャーのケアプランに基づいて、日々ご利用者様に合わせたサービスを提供しています。サービス責任者がケアプランの指示どおりにサービス内容を組み立て、ご利用者様を担当するヘルパーに介護内容を伝え、身体状況や注意事項を確認してサービスに入ります。一人のご利用者様に対して2〜3人のヘルパーが担当につき、サービス時はそのうちの一人が訪問します。サービス責任者は、サービスに入ったヘルパーからご利用者様の身体状況や生活状況の変化をその都

こぐち
小口 たえ子

訪問城南訪問
サービス提供責任者
二チイケアセンター
介護サービス

ご利用者様について担当ヘルパーで話し合う様子



度報告してもらい、次に訪問するヘルパーに報告します。同じご利用者様を担当する複数のヘルパーが常に同じ情報を共有し、同じサービスを提供できるように、サービス責任者が管理しています。

サービス内容の見直しや追加の必要性がある時は、早期にケアマ

ネジャーへ伝えます。在宅のご利用者様が安全で快適な生活を維持するためには、ヘルパー、サービス責任者、ケアマネジャーの連携をスムーズに行うことが大切です。

「身体介護」の場合、入浴や排泄介助時に、体温や皮膚の状態、身体の痛みの有無など細部まで確認することが出来ます。特に臀部

は長時間にわたり同一体位をとり続けたり、長時間オムツを着けていることによる蒸れや汚れで皮膚が傷つきやすい状態にあります。

洗浄して清潔を保つと同時に、皮むけや発疹、傷などの有無を必ず確認するようにしています。また、身体を動かす時の痛みの有無や、手足の腫張なども丁寧に確認します。特に、臥床生活によって起る褥瘡は、悪化するとご利用者様にとって大きな問題になります。一度出来てしまうと悪化しやすく、治療しにくいため、早期の発見、対応が重要になります。

最近では日々の介護記録も電子化が進み、パソコンやスマートフォンに入力するようになりましたが、医師の診断により、血圧・体重・排泄等、日々の観察が特に必要とされる項目のあるご利用者様宅には、共有ノートを置かせて頂き、ヘルパーが測定した数値や状態を記録し、ご利用者様ご家族、ケアマネジャー、訪問看護の方々に、日々の変化をいつでも確認して頂けるようにしています。日々の変化を迅速に報告し共有することで、悪化する前の早期の段階で身体の不具合を発見出来ます。これにより素早く処置が出来て結果、大事に至らず快方に向かったケースも多々あります。

『訪問介護』では、ヘルパー一人一人の「気づき」や、情報の「共有」介護に関わる多職種の人たちとの「連携」がとても大切です。私たち訪問介護ヘルパーは、ご利用者様が在宅での生活を支えるチームの一員という自覚を常に持ち、「介護のプロフェッショナル」として、ご利用者様の生活を全力で支えていきたいと思っています。

次回は9月8日掲載予定

気づきの大切さ